第43巻9号2020年1月1日発行（毎月1日発行）

# ONE BOOK ONE LIFE 2020 1月号

ヘレン・ケラーの灯火
Nippon Lighthouse

## 掲示板

### 専門点訳講習会「理科、算数・数学」コース

毎日新聞大阪社会事業団との共催で標記の講習会を開講します。日本点字表記法の改訂に伴い変更された理科、算数・数学の点字表記について、従来の規則がどのように変更され、今後どのような配慮が必要かを学びます。

日時　２月27日（木）、３月12日（木）２回連続
　　10時～15時
講師　福井哲也（点字情報技術センター所長）
対象　理科、算数・数学点訳の経験者
参加費　1,000円

申込は点字製作係（電話06-6441-1028）へ要項請求の上、１月31日（金）までにお願いします。

### 今年のボランティア交流会は３月27日（金）

毎年３月上旬に行っているボランティア交流会ですが、今年度は少し遅めの３月27日（金）に決まりました。ゲストに横浜市立盲学校教諭で、東京パラリンピックの応援ソング「リアルビクトリー」を作り、全国で演奏活動をしている栗山龍太（りょうた）さんを迎えます。詳細は来月号でお知らせしますので、ぜひご予定ください。今年もバザー物品のご提供をよろしくお願いいたします。

### 中山ＵＤ映画祭『岳（がく）』にご招待！

公益財団法人中山視覚障害者福祉財団主催、当館協力の「中山ＵＤ映画祭Vol．５」が１月24日（金）13時から15時30分、神戸市立新長田勤労市民センター別館３階「ピフレホール」で開催。当館のわろう座映画体験会でも大好評だった『岳』を音声ガイド・日本語字幕付きでバリアフリー上映します。『岳』は同名の人気コミックを原作に、山岳救助をリアルに描いたヒューマンドラマです。入場無料。視覚障害者の方が優先ですが、当館のボランティアもご招待します。当館３階総務係カウンターでチケットを差し上げますので、ご遠慮なくお申し出ください。

### １月の休館について

１月６日（月）仕事始め（14時～法人互礼会）
１月７日（火）ボランティア活動・サービス再開
１月９日（第２木曜、書庫・在庫整理日）
　５階サービスフロアと別館・図書貸出は休室
１月11日（土）６階録音製作・８階電子書籍は休室（13日月曜指定祝日の振替）
１月14日（火）５階サービスフロアと別館・図書貸出は休室（13日月曜指定祝日の振替）

# 新年のご挨拶～点字図書館の利用対象者の拡大を目指して

館長　竹下　亘

新年おめでとうございます。皆様の当館に対する日頃のご支援とご協力に感謝するとともに、本年が皆様にとってより良い年となりますようにお祈り申し上げます。

## 読書バリアフリー法と点字図書館の課題

昨年は、「読書バリアフリー法」(視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律)が６月に施行されました。11月には、2020年度から５年間の具体的な施策作りのため、文部科学省と厚生労働省の主管で、関係16団体による「協議会」が開かれ、私も全視情協理事長として参加しました。その場では、点字図書館と公共図書館等の整備、サピエの強化、出版者による電子書籍出版と図書データ提供の促進、情報通信機器の開発・入手・習得支援など、さまざまな課題について意見発表と討議が行われました。

視覚障害者情報提供施設の代表として私が訴えたのは、点訳・音訳ボランティアの養成・活動支援と、サピエの運営費の補助増額による利用者協力金の無償化、簡単に使えて安定供給される情報通信機器の開発と普及などでした。一方、他の複数の当事者団体が異口同音に求めたのは、身体障害や読み書きの困難のある人達にも録音図書や電子書籍、そしてサピエや点字図書館の門戸を広げて欲しい、という要望でした。

これについては、本来、障害の有無を問わず、すべての人に開かれている公共図書館に「障害者サービス」を普及させることが第一ですが、それとともに、全国の点字図書館も利用対象者の拡大に努める必要があると思いました。

当館では、以前から障害者手帳の有無に関わらず、視覚に障害のある方には用具や機器の利用相談をはじめ図書の貸出や対面リーディング、サピエの利用登録を行っています。また文字の読み書きが困難な方や身体障害の方にも録音図書の来館貸出やサピエの利用受付をしています。

ところが、全国の多くの点字図書館では、身体障害者福祉法や設置自治体の規定、あるいは職員や予算が足りないという理由で、「障害者

手帳を持つ視覚障害者」以外の方は、サピエの登録さえ受け付けない、という所が少なくありません。確かに、点字図書館が視覚障害者のサービスを優先するのは当然ですが、全国のボランティアが作成した貴重な録音図書や電子書籍を墨字の読書が困難な人たちと分かち合えることも素晴らしいことではないでしょうか。そこで、今後は国や地方自治体に制限規定の改正や予算増加を求めつつ、点字図書館の利用対象者の拡大に取り組んでいきたいと考えています。

## すべての人が情報を「おもやい」できる社会を

ところで、私は12月、山口県のボランティア団体の招きで講演に行きました。主催者から夕食に誘われた際、「色々な物を『おもやい』で食べましょう」と言われ、意味が分かりませんでした。辞書で調べると、「おもやい(もやい)」とは「分かち合う」「寄り添って共同で事を行う」という意味の方言で、「傘をおもやいでさす」「きょうだいで服をおもやいにする」のように使われるとのこと。用例は江戸初期に遡り、今も山口県などで使われているようです。

私は2013年以来、「情報共有」という言葉を掲げ、金科玉条にしています。しかし、長い年月、人々が日常生活で言い慣わしてきた「おもやい」という言葉は「共有」よりも温かくて、深みがあり、心に響くように感じました。今年は、この言葉を心に刻み、改めて、すべての人が図書をはじめとする情報を「おもやい」できる社会を目指して努力して参りますので、皆さまのいっそうのお力添えをお願い申し上げます。

## 【見学日和～知れば、知るほどおもしろい】
# 視覚障害者支援の会クローバーの中川由希子さんを訪ねて

視覚障害に関係する施設や団体を訪問してご紹介する企画を６年ぶりに再開することになりました。第１回目は、阪神大震災をきっかけに結成された視覚障害者の外出介助ボランティア団体「視覚障害者支援の会クローバー」です。阿倍野の事務局に中川由希子代表を訪ねました。（総務係　大岡亜希子）

### クローバーで出来る事

「クローバー」は阪神大震災をきっかけに始まった民間の外出介助ボランティアグループです。20余年間の活動を経て、更なる継続をするために組織の基盤強化をはかり、この４月に NPO 法人として再出発されました。活動内容は「視覚障害者の方のおでかけの際に目の代わりをすること」です。利用者の方の申し込みを受けて、事務局がメンバーとマッチング。予定が合えば依頼成立です。年間同行件数は毎年増加していて、2018年度では約800件!ボランティアスタッフは約100人ほど在籍されていて、一番若い人は高校生です。

### クローバー結成のきっかけ

「はじめた時は、震災から１年ほどの活動のつもりだったんです。ところが、今も続いていて、気がつけば20余年間も経っていて･･･」と笑顔で話してくださった代表の中川由希子さん。

1995年、阪神大震災でご自身も被災され、大切なご友人を亡くされました。そのことをきっかけに、「救われた私の命で何か出来ることがないか」という想いで、その年の３月に行われた情報文化センターのガイド講習会へ参加。その講習会でのつながりをきっかけにクローバーの結成を決意され、フルタイムの仕事をやめて68人の仲間と共に活動をスタートしました。

１年目は被災者の方に向けての活動であったため、罹災証明書の手続きのために役所へ行ったり、自宅から仮設住宅への引っ越しの依頼が中心でした。事務局も無かったため、情報文化センターの２階に段ボール箱１つ分だけ間借りして、電話も取り次いでもらっての活動でした。クローバー創設にあたり、活動内容を知ってもらうために、被災者が多くいる六甲の盲老人ホーム千山荘へチラシの手配りに行かれたことも、懐かしそうに話してくださいました。

### これからについて

活動が１年ほど経ったときに、「被災していないけれど、手引きをお願いできないか」といった依頼があり、だんだんとその割合が増えていきました。今では毎日40～50通ほどのメールのやりとりをするほどに依頼が増えて、中川さん一人ではコーディネート作業が難しくなり、NPO 法人化することに決定しました。コーディネート専門の職員を迎えて、今年度の４月から再出発されました。活動内容に変更はなく、今でも利用者の方からは、交通費の実費と、電話通信代100円のみしか頂いていないそうです。「 NPO 法人化して事務局費用を賄うために、支援者の輪を広げていかないといけないんです」と中川さん。

電話からメール中心に、被災者の外出介助からお出かけの案内へ、そして NPO 法人化へ。時代が変わっても「視覚障害者の方の外出のお手伝いが少しでも出来れば」という中川さんの温かい想いは変わりません。

利用者とボランティアの交流会の様子

クローバーではボランティアや支援者の方を募集しています。また、ボランティア交流会や研修といったイベントも実施しています。

お電話・ＨＰでお問い合わせください。

**クローバー** URL https://osaka-clover.org/

**電話** 06-6654-9064（火・土10：30-16：00）

# 藤野高明氏の講演会を開催～点字の昏読（しんどく）で切り開いた人生に学ぶ

## 「障害者は不幸ではないのか？！」

12月14日、当館点字製作係の主催で開催した藤野氏の講演会には約30人が参加。重厚な内容を明るく、軽やかに語られるお話しに引き込まれた。

開始早々、藤野氏から私たちに投げかけられたのは、「障害者は不幸にあらずという言葉は、本当にそうなのだろうか？」という重い問いかけ。その問いは、戦災で障害を負ったご自身の経験にあるという。小学２年生の夏、米軍の不発弾を何も知らずにいじっていたところ、突然暴発し、一瞬にして視力と両手首から先を失った。

奇しくも、藤野氏の実家は福岡県立盲学校(当時)の近くにあり、見えなくなる前から盲学校の存在を知っていた。ただ、まさか自身が視覚障害になるとは思いもよらなかった。点字の触読ができず、三療の職に就くことも難しいという理由で、盲学校への転入を拒否された藤野氏は教育を受けられないまま、眼の治療のため入院。そこで入院中の盲学校の生徒から点字を教えてもらう。点字が合理的な規則で作られていることを知り、面白くなり、瞬く間に吸収していった。さらに勉強への意欲が芽生えた。また、ハンセン病療養施設での体験を元にした小説「いのちの初夜」を読み聴かせてもらったことが、社会の障壁に立ち向かう力を与えてくれた。

## 点字の昏読と粘り強い努力で障壁を突破

20歳の時、ようやく大阪市立盲学校(当時)の中学部２年に転入。そこで大きな出会いが待っていた。点字の昏読である。当初は読み取りにかなり時間がかかった。しかし、習うより慣れろで、徐々にスピードを上げていった。学習意欲も旺盛で、勉強が楽しくて仕方がなかった。やがて大学受験を目指し、障壁を乗り越えて入学・卒業。教員資格を取得し、大阪府の高校・世界史の教員採用試験に合格したが、障害を理由に配属が決まらず、結局、採用期限切れとなった。だが、交渉して再受験のチャンスを獲得。そして、ついに大阪市立盲学校への赴任が決まった。

点字を指で読む人に比べると、昏読は断然遅い。加えて、どうしても下を向いて読むため姿勢が悪くなる。さまざまな工夫を重ねて、30年余り教職に打ち込んだ。(また、障害者の権利と平和を守る運動などにも積極的に取り組まれました。)

まもなく盤寿(81歳)。将棋や音楽観賞が趣味という藤野氏は、今も活発に活動されている。「障害者は不幸であることに違いはないが、障害者だからこそ経験できたこともたくさんある。いろいろあったけど、私は人に恵まれ、今の自分があるのだと思う」と振り返られた言葉が胸に響いた。　　（点字製作係　奥野真里）

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2019年11月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

## ♣ 点 字 製 作 ♣

### 11月分完成点字図書

10タイトル32冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

英語長文レベル別問題集６
(安河内哲也 他)　6冊
点・校:グループONE

鬼切りの綱(岡本千紘)　2冊
点:中川春美
校:清水浩子　松井順子

おいしいお茶の秘密
(三木雄貴秀)　2冊
点:足立幸子
校:G校正　篠原苑子

呉服屋の若旦那と政略結婚
いたします(春田モカ)　4冊
点:野上満智子
校:G校正　小林陽子

二の腕のぷよぷよがなくなる本
(手島渚)
1冊　点:前田裕子
校:G校正　辻野純代

トクシュー!(吉野茉莉)　5冊
点:岩田幸代
校:大西裕子　橋詰玲子

米国の医学博士が伝授する人生を変えるコーヒーの飲み方
(B・アーノット)　3冊
点:木虎真紀
校:G校正　辻野純代

北斎富岳三十六景
(葛飾北斎画)　2冊
点:清水浩子
校:中川春美　橋詰玲子

星のなまえ(高橋順子)　3冊
　点:生嶋貞夫
　校:河村牧子　木村寿子
　　古本芙美子　平野 健
レギオニス　信長の天運
　(仁木英之)　4冊
　点:中沢由美子
　校:河村牧子　加尾美千子

## ♠ 録 音 製 作 ♠

**11月分完成録音図書**

19タイトル(書名、著者、録音時間、音訳者、校正者、編集者)

有村家のその日まで
　(尾崎英子)　8:08
　音:谷口伊都子
　校:山口孝代　松浦洋子
　　松井喜美代
　編:若槻敬子
親に作って届けたい、つくりおき
　(林幸子)　2:29
　音:川辺洋子
　校:岩田真智子　西村郁子
　　土井賀津子
　編:上月直子
関西で飲もう(太田和彦)　6:13
　音:平田恵美子
　校:佐藤圭子　本村英子
　編:岩崎千佐子
着飾らない辞世の言葉
　(福田喜一郎)　6:43
　音:岡 香代子
　校:谷澤耀子　澤田和代
　　阪越紀子
　編:本村英子
QOLって何だろう
　(小林亜津子)　4:16
　音:下山とよみ
今日から!英語読書
　(林剛司)　4:55
　音:中原尚子
　校:脇本登志子　西田芳美
　編:山崎千代子
「子どもの発達障害」に薬はいらない
　(井原裕)　6:53
　音:地上博子
　校:志水節子　渡辺一枝
　編:辻野玲子
小林一三 天才実業家と言われた男
　(小堺昭三)　6:43
　音:横山栄子
　校:畑 豊弥　大西祥子
　　阪本由美子
　編:川端砂代子
サラリーマンの力
　(亀淵昭信)　5:19
　音:大里いずみ
　校:夛田禮子　岩崎千佐子
　編:佐藤圭子
市販の冷凍野菜超ラクうまレシピ
　(キッチン・ヘルシー)　2:12
　音:土井賀津子
　校:松浦洋子　阪本由美子
　編:羽淵雅子
ジャニーズグループの終わり方
　(ジャニーズ研究会)　5:33
　音:寺田典子
　校:川勝美佐子　浜本裕子
　編:森口慶子
情報隠蔽国家(青木理)　8:21
　音:小森佳津子
　校:鈴木ますみ　松井喜美代
　編:前田元子
父と私　恋愛のようなもの
　(森茉莉)　9:34
　音:二宮真理
　校:宮 清子　渡辺一枝
　編:三原佳子
泥水のみのみ浮き沈み
　(勝新太郎)　7:20
　音:右藤惠子
　校:三原順子　壁谷岑子
　　小林万智子
　編:辻野玲子
人間にとって病いとは何か
　(曽野綾子)　5:05
　音:北山真知子
　校:中澤康子　土井賀津子
　編:佐藤保子
ノックととおるのはざまで
　(太田房江)　2:43
　音:田中恵子
　校:山田啓子　植田美穂子
　編:阪本由美子
ビル・ゲイツ・ストーリー
　(T・クリスティアン)　6:35
　音:辻本紀枝
　校:西田芳美　脇本登志子
　編:山崎千代子
ヘルスツーリズムによる地方創生
　(西村典芳)　5:23
　音:小山久子
　校:内藤かほる　金井典子
　　本村英子
　編:吉川順子
“理由のない不安”を一瞬で消す方法(高牟礼憲司)　4:39
　音:嶋津美香
　校:寺田美枝子　土井賀津子
　編:吉川順子

【お詫び】前号に掲載した10月分の完成録音図書の製作者に誤りがありました。お詫びして再掲載いたします。

あんことわたし
　(川田裕美)　4:38
　音:荒木節子
　校:水野順子　荒木良子
　編:辻野玲子

## ♥ プライベート製作 ♥

**点字図書**

エブリスタディ 2017年12月号　4冊
　点・校:算数・数学グループ
　点:藤井恵美子
　校:松井育子
「金平糖」第143回短歌サロン　1冊
　点:待田敏彦
　校:若林安也子
カントリー・ロード(楽譜)　1冊
　点:鴻上真理
　校:奥村純子

**録音図書**
98歳、石窯じーじのいのちのパン
（竹下晃朗） 4:21
音・編:坪田捷子

## ◆ 定 期 刊 行 物 ◆

**『ONE BOOK ONE LIFE』**2019年12月号
発送:木下正義　中島小夜子
中島千恵　西垣泰子　山田一弘

**『読書』**2019年12月号
デイジー版　1:04
音:下山とよみ　校:寺下千秋
発送:井川倭文子　板波キミ
並木昌子　宮崎ナオヨ　宮野興子

**『JRニュース』**2019年12月号
点字版　3冊
点・校:金曜日グループ

**『アミ・ドゥ・ブライユ』**第26号
点字版　1冊
点:河村牧子　清水浩子
濵田恵美　古林敬子

**『お役立ち目録 ～ダイエット 』**
2019年12月号
デイジー版　0:11
音:下山とよみ
校:寺下千秋

**『子供の科学』**2019年10月号
デイジー版　3:40
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子　岸田素子　夛田禮子
田中英子　土井明美　南浦京子
宮 清子　吉田 薫

**『サイエンスかわら版』**2019年10月号
デイジー版　4:17
音・校・編:情報文化センター
「理数チーム」
阪本美紀　夛田禮子　濵 欣子
濵名あきよ　浜本裕子　松本紀代
山本雅子

**『英語よもやま通信』**2019年12月号
デイジー版　2:43
音・校・編:情報文化センター
「英語チーム」
伊東晴子　辻本紀枝　中島美穂
中島 睦　西田芳美　西和田惠子
前田元子　眞津野秀子　山本 香

**『週刊新潮』**デイジー版
◆2019年11月7日号　9:27
今岡松代　岡村勝彦　加藤紀美子
上田啓子　河原眞知子　衣田智恵美
木村加代　黒河典子　正田潤子
竹村京子　中村千賀子　中村直美
中本和代　西田文子　野村美穂子
東浦雅代　久富恭子　兵頭つね子
深津綾子　福田佳代
編:中本和代

◆2019年11月14日号　10:23
畔田文恵　稲田至功子　上原多美子
大久保美弥　大島幸枝　大橋恵子
岡﨑節子　長村明子　上村裕子
阪本美紀　坂本雪枝　佐藤公平
澤井 稔　鈴木恵子　髙田雅子
武市敦子　寺下千秋　永井憲子
中地淳子　野村純子　濵 洋一
林 由子　平野さち　福井栄子
前田元子　増田典子　向髙寿子
山田啓子　山本スズ子　山本晴代
吉田典子
編:小森由紀子

◆2019年11月21日号 10:45
天江美佐子　荒木節子　太田貴子
越智真弓子　帰村千恵　髙久俊子
寺西竹子　当房公子　中本和代
中村洋子　成田由起　西村道子
西山トシ子　直場徳宥　橋本明子
橋本佳子　服部秀美　前田元子
松原和子　守田喜久子　柳内登喜子
山下富代　山下 豊　和田文子
編:中本和代

◆2019年11月28日　初霜月増大号
10:53
畔田文恵　有川美津子　大島幸枝
大塚しづ子　大森恵子　岡﨑節子
長田志野　上村裕子　神谷勉子
川添美智子　川端砂代子　北元直子
久下悦子　小池雅子　國分清子
坂田嘉子　坂本雪枝　佐藤圭子
佐藤公平　澤井 稔　澤田由紀
沢田玲子　嶋津美香　鈴木栄二
武市敦子　田宮加代　地上博子
坪田捷子　冨田久美子　西岡千代子
橋村惠子　兵頭賢一　平田惠美子
弘津千加子　前田元子　森口慶子
山下尚子　湯川恭子　横山栄子
和田ゆう子　和布浦眞里子
編:古跡眞知子

◆新潮音訳協力グループ
八幡市民図書館朗読ボランティア
サークルよむよむ
奈良県視覚障害者福祉センター
「草笛会」
グループN-BUN
デイジー大阪

**『日経パソコン』**デイジー版
2019年11月号　5:17
音・校・編:情報文化センター
石井那智子　小倉玲子　片岡珠子
桂 公子　金井典子　川端真知子
北川温子　木村純子　小林幸子
小森佳津子 阪本由美子 佐々木マス子
佐山敦子　嶋川真理子　下山とよみ
夛田禮子　寺下千秋　寺田美枝子
西田芳美　西村郁子　二宮真理
橋本万里　浜本裕子　福島博子
前田元子　三上 菊　目連雅子
横山時子

## ❦ 館内お手伝い ❦

**図書･情報サービス**

飯村康志　板波キミ　板谷照美
上田敬子　海上映一　片岡忠克
木村謹治　帰村千恵　小寺高子
小林弘子　武部はつ子　塚本紀子
当房公子　西　征子　逸見恵子
堀川由美子　宮嶋昌代　宮野興子
森本益子　若槻敬子　渡邊洋子
［茨木市バラの会］
堂 晴美　永崎利恵

**◆11月の貸出実績**

点字　176tl　DAISY　3389tl
テープ　55tl

★11月の人気貸出図書★
（当館製作図書。順不同。）

【点字図書】
知って得する!おうちの数学
（松川文弥）
縄文探検隊の記録(夢枕獏)
墓が語る江戸の真実
（岡崎守恭）
白夜行(東野圭吾)

【録音図書】
うたかたの城 穴太者異聞
（西野喬）
瓦版屋権兵衛筆さばき
（飯島一次）
大阪城下老舗ごふくや事件帖
（三坂しほ）
ボディ･ピアスの少女
（藤田宜永）

**整理・情報サービス**

板波キミ　板谷照美
鱗星千恵子　逸見恵子
岡田満千代

**電子書籍**

池尻三千子　岩井和美
西村佐世子

**情報システム**

森田敏子

## ☆ 電子書籍 ☆

〜一ツ橋綜合財団助成事業〜
マルチメディアデイジー図書をはじめとする当館の電子書籍は、公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

**◆マルチメディアDAISY図書**

少年探偵18 奇面城の秘密
画像製作:足立佐紀子
DAISY編集:高階秀男
DAISY校正:田中喜久江　森田敏子

**◆プライベート製作**

社会福祉士国家試験過去問
解説集　2020
越智真弓子　笠松幸彦
木原富子　佐藤久子
千徳節子　中川幸子
新田 優

これならわかる要点解剖学
森田敏子

## ✎ 音 声 解 説 ✍

**（ボイスぷらす）**

**◆シネマ･デイジー**

「警部補 古畑任三郎 1st season
第十二話　最後のあいさつ」
ナレーション:那須由美子
台本制作･編集:阪口雅代
那須由美子　弘津千加子
台本校正:尾崎一恵

「トワイライト ささらさや」
ナレーション:藤井倫子
台本制作･編集:廣野美代子
藤井倫子
台本校正:那須由美子

「ホーム･アローン2」
台本制作･編集:藤井倫子
台本校正:西川真知子

## ❣ 対面リーディング ❣

青木幹雄　荒河裕子　池本滋子
伊東晴子　稲田至功子　上ノ山禎子
内山扶美代　大坂陽子　大島幸子
大村登子　岡﨑節子　岡﨑博子
奥井秀子　長田志野　桂 公子
鎌田 潤　河内町子　菊池雅子
北川 悟　古賀和子　小谷千佐子
小山久子　嶋津豊子　首藤博子
髙橋真紀　髙橋由紀江　千原加容子
辻村 稔　中野龍子　中本由美
長岡彰子　畠田幹子　弘津千加子
藤本郁子　古川孝子　古木昭子
堀内眞里　本荘一子　前田芳野
松谷富子　眞野祥子　宮坂暁子
向井民子　目鷹直美　森田 陞
山内紀代子　山崎 彰　山下喜美
山田栄利子　和布浦眞里子
11月　利用者13人･53件
ボランティア50人

**『対面リーディング通信』編集**

伊東晴子　木村謹治　澤井 稔
細井昌子

## ✉ パソコンサポート ✉

**（ボイスネット）**

【11月実績】
訪問:三輪彰宏　村上栄一
HP更新:中条正信
週報:阿佐和幸

## ❋ ご 寄 附 ❋

フーミンスタディ　ペボの会
園田香代子　田中久雄　田中真知子
玉尾美榮子　舟橋雄一　眞野祥子
安原智子　湯川欣晃
匿名２件
（敬称略をご容赦下さい）

## 朗読劇再演とハンドベルの音色に魅せられて

灯友会と当法人主催の朗読劇「 Helen ～ともしびをかかげて」&クリスマスハンドベルコンサートが12月７日、玉水記念館で開催。朗読劇は昨年のヘレン・ケラー女史没後50年の記念企画の際にご好評いただいたこともあり、再演が実現しました。ハンドベルの美しい音色から始まり、朗読劇では「奇跡の人とは、誰かの事を大切に思う、生きる人すべてのことであること。人と人が出会うということは素晴らしい奇跡だ」というメッセージが込められていました。

当日は300人を超える来場者があり、視覚障害の方やボランティアの方、関係者に楽しんでいただけたのはもちろんですが、中には小学生、中学生のお子さんや、今回初めてライトハウスの行事に来てくださった方も多数おられました。これをきっかけに、また新たな奇跡の輪が広がっていくことを願ってやみません。（林田）

## 近畿視情協のボランティア研修会に160人

近畿視覚障害者情報サービス研究協議会の今年度ボランティア・職員研修会が12月５日、玉水記念館で開かれ、当館のボランティアや職員も含め、160人余りが参加しました。午前は、岸博実氏（京都府立盲学校非常勤講師）の講演「京都盲唖院の挑戦と京の町衆」が行われ、日本最初の盲学校の盲教育への創意工夫とともに、今日のボランティア活動の源流とも言える京都の市民の応援協力の姿が解き明かされ、参加者に深い感銘を与えました。午後は分科会に分かれ、点訳は「記号類の使い方」、録音は「音声表現技術と校正技術を同時に学ぶ」をテーマに、中身の濃いワークショップが行われました。

## 当館３階の全視情協事務局が新体制

当館３階総務係の奥に、特定非営利活動法人全国視覚障害者情報提供施設協会の事務局があります。昨年まで神奈川事務所と当館の２ヶ所で業務を行っていましたが、神奈川在勤の前事務局長が退任したため当館に統合。長年、事務局を担当してきた正井和子さんが事務局長に就任するとともに、新たに『点字毎日』勤続34年の石川昌宏さんが事務局員に加わり、サピエ事務局担当の西井敦子さんと３人で業務を行っています。当館とも密接に連携しながら、全国の図書製作とサービスの向上、サピエの発展に取り組んでいますので、お知りおきください。

## あ ゆ み

【12月】
１日 第13回マルチメディアデイジー講演会
５日 近畿視情協Ｖ・職員研修会（玉水記念館）
７日 朗読劇「 Helen ～ともしびをかかげて」&Ｘマスハンドベルコンサート（玉水記念館）
14日 藤野高明氏 講演会
21日 オープンデー（館内見学日、３人）
24日 わろう座映画体験会「ホームアローン2」
27日 仕事納め

## 予 定

【1月】
６日 仕事始め（法人互礼会）
７日 ボランティア活動・サービス再開
９日 サービス部休室（在庫・書庫整理日）
11日 録音製作・電子書籍係休室（13日振替）
14日 サービス部休室（13日振替）
18日 オープンデー（館内見学日、要予約）

**編 集** 年明けの楽しみは、今年の大河ドラマ**後 記** 『麒麟がくる』です。どうしても麒麟と言えばビールを思い浮かべてしまいますが、中国に伝わる伝説上の動物で、慶事の前に現れると言われているそうです。しかしながら慶事とは似つかわしくない動乱の戦国時代を舞台に、史実の少ない明智光秀を主人公にあてているのも、ちょっと謎めいています。「本能寺の変」にはいくつもの説があるのをどのように描かれるのかも興味をそそりますね。私は誰かが残した格言や名言が気になったりするのですが、光秀の残した句に「心知らぬ人は 何にとも言はば謂へ 身をも惜まじ 名をも惜まじ」とあります。「人にどう思われようと、自分の信念を貫くぞ」という潔さを感じます。（茂）

ONE BOOK ONE LIFE（ワン ブック ワン ライフ） 2020年1月号
発 行 社会福祉法人日本ライトハウス
情報文化センター（館長 竹下 亘）
住 所 大阪市西区江戸堀1-13-2（〒550-0002）
TEL 06-6441-0015 FAX 06-6441-0095
E-mail info@iccb.jp
表紙絵 武部はつ子
発行日 2020年1月１日
定 価 1部100円 年間購読料1,000円